

令和6年度 病害虫発生予察情報

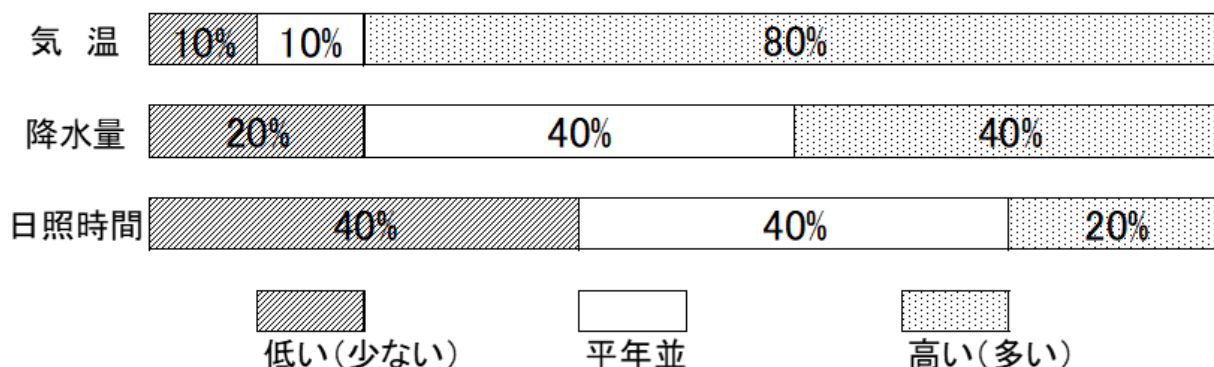
発生予報第8号（10月）

令和6年10月7日
島根県

予報の概要

区分	農作物名	病害虫名	予想発生量
果樹	カキ	カメムシ類	やや多い
野菜	キャベツ	黒腐病	少ない
	アブラナ科野菜	菌核病	少ない
		コナガ	多い
		ハスモンヨトウ	多い

中国地方1か月予報(10月5日～11月4日・広島地方气象台10月3日発表)
＜向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)＞



A. 果樹

1) カキ

(1) カメムシ類

予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯

発生量 やや多い

予報の根拠

- ① 9月第1半旬から10月第1半旬までの予察灯（出雲市）でのカメムシ類の誘殺数は633頭（平均421.5頭）と発生量は平均に比べてやや多い。
- ② 9月下旬の巡回調査での累積被害果率は、14.4%（平均1.6%）と平均に比べて多い。
- ③ 10月の気象は、本種の発生を抑制する要因とはならない。

B. 野菜

1) キャベツ

(1) 黒腐病

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 少ない

予報の根拠

- ① 9月下旬の巡回調査では、発生は確認されておらず（平均発生ほ場率3.1%）、発生量は平均に比べて少ない。
- ② ハスモンヨトウ等食葉性害虫の発生量は、多いと予想されている。
- ③ 10月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) 菌核病

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 少ない

予報の根拠

① 9月下旬の巡回調査では、発生は確認されておらず（平年発生ほ場率 1.6%）、発生量は平年に比べて少ない。

② 10月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

2) アブラナ科野菜

(1) コナガ

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 多い

予報の根拠

① 9月下旬の巡回調査では、アブラナ科野菜での本種の発生ほ場率は県東部で 50.0%（平年 9.8%）、寄生株率は 10.0%（平年 1.3%）、県西部でそれぞれ 20.0%、3.0%と、発生量は平年に比べて多い。

② 10月の気象は、本種の発生を特に抑制する要因とはならない。

(2) ハスモンヨトウ

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 多い

予報の根拠

① 9月下旬の巡回調査では、アブラナ科野菜での本種の発生ほ場率は県東部で 80.0%（平年 21.4%）、寄生株率は 24.0%（平年 4.2%）、県西部ではそれぞれ 60.0%、12.0%と発生量は平年に比べて多い。

② 7月以降のフェロモントラップによる累積雄成虫誘殺数は、県東部で 443 頭（平年 1123.8 頭）、県西部で 664 頭（平年 1338.8 頭）とやや少ない。

③ 10月の気象は、本種の発生を特に抑制する要因とはならない。

注) 令和6年度 病害虫発生予察情報 注意報 第3号 参照。

島根県病害虫防除所

(島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫科)

〒693-0035 出雲市芦渡町 2440

TEL : 0853-22-6772

FAX : 0853-24-3342

ホームページアドレス :

http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/gijutsu/nougyo_tech/byougaityuu/